

第51回 九州地区情緒障害教育研究会長崎大会

1 研究テーマ

「子どもたちの未来へつなぐ指導・支援の在り方を考える」
～一人一人の教育的ニーズに合った支援や指導、連携の在り方を求めて～

2 期日

令和5年8月22日 九州理事研究会及び情報交換会実施



令和5年8月23日（水）九州地区情緒障害教育研究会長崎大会実施

【参加者】

福岡県	20名
佐賀県	16名
大分県	8名
熊本県	3名
宮崎県	13名
鹿児島県	2名
沖縄県	2名
長崎県	209名

合 計 266名

【分科会】

第1分科会：自閉スペクトラム症

	提案者	司会者	指導助言者
大分	山口 律子 (竹田市立竹田小学校)	宮脇 寛美 (大分市立野津原中学校)	高橋 甲介 (長崎大学教育学部准教授)
佐賀	南川 和美 (唐津市立第一中学校)	小形 由美子 (唐津市立長松小学校)	



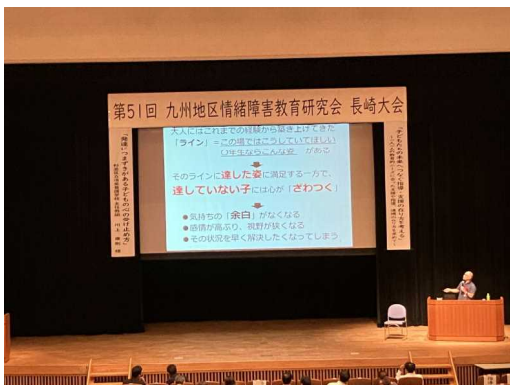
第2分科会：LD・ADHD

	提案者	司会者	指導助言者
長崎	江口 真治 (佐世保市立相浦中学校)	金山 利恵子 (佐世保市立猪浦中学校)	吉田 ゆり (長崎大学教育学部教授)
宮崎	白石 千絵 (宮崎市立広瀬小学校)	矢野 美保子 (宮崎市立宮崎小学校)	



【記念講演】

講演タイトル 「発達につまずきがある子どもの心の受け止め方」
 講師 川上 康則 (杉並区立済美養護学校主任教諭)



【アンケート結果】

1. 大会期日は適当でしたか。

満足	78.6%
やや満足	20.0%
やや不満	1.4%
不満	0.0%

2. 大会は適当でしたか。

満足	84.3%
やや満足	14.3%
やや不満	0.0%
不満	1.4%

3. 記念講演、分科会は適当でしたか。

満足	85.7%
やや満足	12.9%
やや不満	1.4%
不満	0.0%

4. 会場の設営・設備、視聴覚機器、スタッフの対応等は適当でしたか。

満足	82.9%
やや満足	12.3%
やや不満	4.3%
不満	0.5%

5. その他

- 大変有意義な会をありがとうございました。特別支援の素敵な実践に触れられたこと、また、指導のご助言、大変勉強になりました。また、垣間見える諸問題について考えさせられる良い機会になりました。日頃の実践に生かしていきます。川上先生は日本UD学会で知り、著書も沸々と人気を博しております。ご講演をもっと多くの必要としている方に聞いてほしかったと、もっと大きく宣伝してほしかったと感じました。
- 川上先生の講話で、発達につまずきのある子どもの心を受け止め、安心して学校生活を送るためのヒントをたくさん教えていただいた。2学期の学校生活に生かしていきたい。
- 情緒障害学級担任しか分からない悩みの共有が出来た気分でした。講演では、学べば学ぶだけ孤立する、という普段の悩みを少し受け止めてもらえた気分になり元気になりました。
- 大会までのご準備等、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。記念講演の内容は、人権教育の観点からはとても貴重なお話でした。しかし、講師の先生が、心理学の研究者の理論やご自分の所感を織り交ぜられ、やや学校や教師批判に傾かれていると感じました。講師の先生のお考えを強要すれば、ますます義務教育の先生方を追い詰め、押さえ込んだ感情を今までとは違うハラスメントとして出てくるかもしれません。
- 一日開催であったのは良かったです。
- 第一分科会に参加しました。お二人とも熱心な発表内容でした。しかし、会場から指摘があったように、法令的に認められていない教育をこのような場で提案されると、経験の浅い先生方はそのまま鵜呑みにしてしまいます。大会運営上、発表内容や原稿チェックはされなかったのでしょうか。子供の為に熱心であれば制度など関係ない様な話には心痛みました。
- 全体会場で水分がとれないのが苦しかったです。
- 大会期日は理事会でも話題になりましたとおりにお盆の前に開催ですと連絡が途切れずにスムーズに連携が取れるのではと思いました。
- 残念だったのが、分科会の2番目の発表者の方が、時間を守れてなかったのが、リハーサルな段階で、しっかりと話す内容を選んで時間内にまとめて話してくださるとよかったですと思います。やはり、時間を守るということは大切だと思います。
- 第2分科会に参加しました。照明が暗すぎて、メモが取りにくかったです。